

要請番号（JL06017A12）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ネパール	C103 野菜栽培		個別	新規	2年	・ 2017/3 ・ 2017/4 ・ 2018/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業開発省

2) 配属機関名（日本語）

イラム郡農業開発事務所

3) 任地（イラム郡イラム） JICA事務所の所在地（カトマンズ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 15.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、農業開発省農業局の出先機関としてイラム郡に設けられている農業開発事務所である。年間事業予算は約3,000万円で、地域農業の発展を目的とする様々なプログラムを実施している。同郡内には、当配属先の下部組織として6つの支所が設置されており、それぞれが管轄する地域の普及拠点として、農業技術指導、病虫害対策、研修の企画運営、種子の配布等の業務を通じ、農民の生産活動に対する支援を行っている。当配属先は、全支所の業務を統括的に指導・管理すると共に、郡全体の事業計画立案や各種許可申請手続き等の役割を担っている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先が管轄するイラム郡は、農業が基幹産業である。内外で高い評価を獲得している茶葉が代表的な農産物であるが、それ以外にも、温暖な気候を利して、四季を通じ様々な野菜や果物、穀類が栽培されている。険しい地勢と脆弱な交通インフラが流通の阻害要因となり、地産地消・自給自足的な小規模農家が主流である一方、近年は地域道路網の改善もあり、農産物が平野部の都市や、国境を越えてインドまで出荷されるようになってきた。その結果、地域農民の間に、外部に向けた農産物販売による収入向上実現への期待が高まっている。このような背景の下、市場の広域化に対応し、農産物の販売収益を伸ばすため、野菜栽培技術の改善と普及を主な目的に、ボランティアの派遣が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先技術者と協力し、地域野菜の生産性向上を目的とする以下の活動を主に実施する。

1. 地域農家を対象とする野菜栽培技術改善のための巡回指導や研修。
2. 新たな野菜栽培技術の導入、改良、普及。
3. 有機栽培技術の改善と普及。
4. 端境期作物の導入に関する取り組み。
5. 配属先が行う各種農業普及プログラムに対する支援。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし。

4) 配属先同僚及び活動対象者

所長(40代 男性):1名

技官、技官補(野菜、果樹、植物病理、農業普及等):19名
他スタッフ(経理担当、事務員等):22名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
ネパール語	ネパール語	

【資格条件等】

[免許]：（ ）
[性別]：（ ） 備考：
[学歴]：（大卒）農学 備考：配属先の要望による
[経験]：（実務経験）2年以上 備考：配属先の要望による
[参考情報]：
・実務経験には実習・研修等も含む

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（0～35℃位） [電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】